

天然記念物「奈良のシカ」保護計画の策定について

奈良のシカ保護管理検討委員会は、「奈良公園基本戦略」に基づき、平成 25 年 12 月に「100 年後も、奈良のシカが変わらず奈良公園に元気で暮らしていること」を目標として、歴史的背景、観光資源性等「奈良のシカ」の特殊性に鑑み、「保護」に重きをおいた「奈良のシカ保護管理計画」を平成 30 年度の策定を目途に進めている。

シカによる農林業被害対策が緊急課題となっていた管理地区である D 地区については、「奈良市ニホンジカ第二種特定鳥獣管理計画」を今年度に策定し、平成 29 年 4 月から計画に基づいた管理を行うこととなった。

平成 29 年度以降は、天然記念物「奈良のシカ」の保護を強化するための『天然記念物「奈良のシカ」保護計画』（以下、保護計画）の策定に向けた検討を進める。

以下に、保護計画の策定にあたって必要な検討事項について整理した。

1. 保護計画の目的

天然記念物「奈良のシカ」のうち、特に春日大社境内等において古来から春日大社の神鹿として保護されてきた歴史的経緯を持つ天然記念物指定の趣旨に合致する保護すべき「奈良のシカ」の保護の強化とともに人との共生を図る。

2. 保護の対象

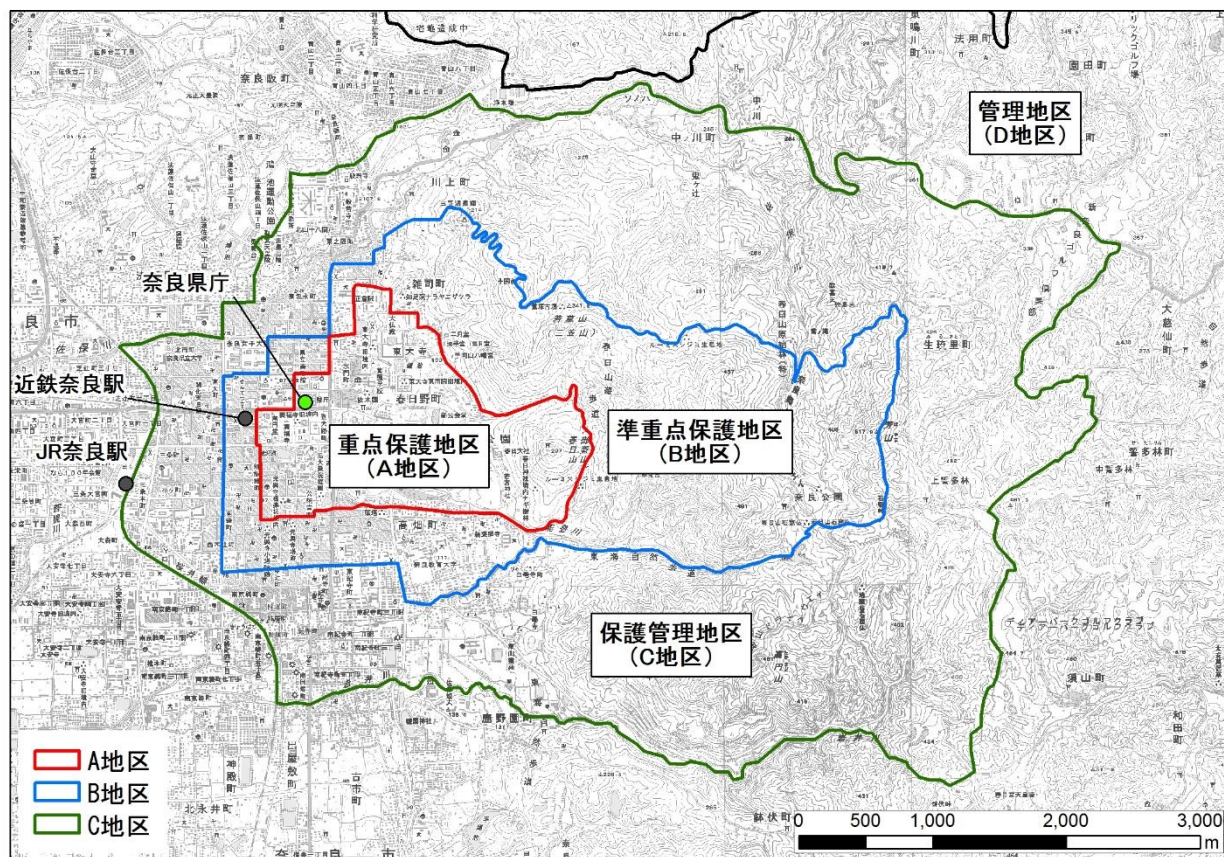
天然記念物「奈良のシカ」のうち、重点保護地区（A 地区）および準重点保護地区（B 地区）に生息するもの。

3. 保護計画の対象地域

天然記念物「奈良のシカ」保護管理区分の保護地区のうち、天然記念物「奈良のシカ」の保護の中心となる重点保護地区（A 地区）および主な行動圏となる準重点保護地区（B 地区）を保護計画の対象地域とする（表 1、図 1）。特に、保護の中心地域である A 地区について、重点的に保護の強化を図ることとする。

表 1 天然記念物「奈良のシカ」の新たな保護・管理地区の地区区分の位置づけ

保護管理区分	地区区分	地区区分の位置づけ
保護地区	重点保護地区	A 地区 春日大社境内等、古来、春日大社の神鹿として保護されてきた歴史的経緯を踏まえた、天然記念物指定の趣旨に合致する保護すべき「奈良のシカ」（以下、保護すべき「奈良のシカ」）の、保護の中心地域。
	準重点保護地区	B 地区 春日山原始林および重点保護地区周辺の市街地等、保護すべき「奈良のシカ」の主な行動圏となる保護地域。
	保護管理地区	C 地区 保護すべき「奈良のシカ」の分布周辺地域。「準重点保護地区：B 地区」と「管理地区：D 地区」との緩衝地域として、保護を中心としながら、農林業被害状況に応じて柔軟な対応を行う。
管理地区	D 地区	保護すべき「奈良のシカ」と人との共生を目指す地域。第二種特定鳥獣管理計画により管理を行い、農林業被害防止を図るとともに、「奈良のシカ」の保護の強化に寄与する。



出典: 国土地理院数値地図 25000(奈良、大和郡山、柳生、大和白石)を加工

図1 天然記念物「奈良のシカ」の地区区分

4. 保護計画の構成

保護計画の構成案を以下に示す。

1. はじめに
2. 計画策定の背景・目的
3. 天然記念物「奈良のシカ」の歴史
4. 天然記念物「奈良のシカ」の生態的特性
5. 保護のための地区区分及び保護管理基準
6. 保護の目標
7. 保護に向けた取組
8. モニタリング計画

5. 保護計画策定に向けた策定方針および検討事項

保護計画の策定にあたって、保護計画の「策定方針」と「構成案のうち、6および7、8」について具体的な内容の検討を行う必要があることから、策定方針と検討事項について以下に整理した。

(1) 保護計画の策定方針について

保護計画は、天然記念物「奈良のシカ」の保護の強化とともに人間との共存を図るための計画であることから、以下の方針で保護計画の策定を進める。

【策定方針】

- ・天然記念物「奈良のシカ」を文化財として保護を強化するための計画として策定する。
- ・課題に対するモニタリングを実施し、評価・検証を行い、順応的に計画を進める。

(2) 保護計画策定に向けた検討課題について

保護計画策定に向けた検討課題は以下の通りである。

【保護計画策定に向けた検討課題】

- (1) これまでの保護に関する取組と課題の整理
- (2) 保護を強化するために必要な課題の整理と具体的取組内容の検討例

① 天然記念物「奈良のシカ」と人とのふれあい

【例】

- ・せんべい以外の餌付けを抑制する施策の検討
- ・シカとのふれあいについての普及啓発（鹿苑の活用も含む）
- ・人身事故防止対策の検討

② 天然記念物「奈良のシカ」の生息環境の改善

※ 奈良公園植栽計画検討委員会、春日山原始林保全計画検討委員会と連携して進める。

【例】

- ・シカが奈良公園内で自然分娩ができるような生息環境の整備
- ・人の立入制限区域（ゾーニング）の設定
- ・シカの餌となるシバ等下草を確保するための、シバ地や下層植生の再生・保全

③ 天然記念物「奈良のシカ」の交通事故防止対策

【例】

- ・交通側とシカ側の両方からの対策の検討

④ 鹿苑における保護の取組

【例】

- ・鹿苑における「奈良のシカ」の保護方針の検討

- (3) 保護計画の目標の設定
- (4) 保護に関するモニタリング項目の整理

6. 今後のスケジュール

平成 29 年度は、上記に示した課題の検討を行い、平成 30 年度に保護計画を策定する。